



JARL 青森県支部ニュース

◇発行：JARL 青森県支部 ◇発行責任者：JR7GBL ◇掲載責任者：JO7GVC ◇編集責任者：JK7LXU



★県支部長交代☆JE7JGG さんから JR7GBL さんへ★

新旧役員が事務引継ぎ会議



▲右から佐藤支部長、中央は会計幹事の工藤さん



▲右から平川新支部長、長内さん、田村さん

4 月 12 日に青森市浅虫で行われた引継ぎ会議で、JARL 社員総会開催月の 6 月 1 日で JE7JGG・佐藤眸支部長から JR7GBL・平川正敏新支部長に交代することになりました。

☆支部会計幹事が交代☆ ★アワード担当も交代★

それに先立つ 4 月 1 日で県支部会計幹事が前任の JJ7LRL・工藤孝夫さんから JK7LXU・石岡洋一さんに、青森県全市町村アワード担当が JR7AGI・田村勝彦さんから JA7OUV・長内伸博さんに代わりしました。

また、10 月 5 日(土)開催予定の第 42 回県支部大会開催地の選定、日赤アマチュア無線奉仕団弘前分団の創設も県支部主導で進めることになりました。

☆功労者を支部相談役に☆

JARL 県支部役員のうち支部長経験者などは顧問ですが、新たに功労者を相談役に委嘱し、その経験を支部活動に反映する道を探ることになりました。6 月の支部合同会議で提案します。

【JARL 青森県支部大会の歩み】

回数	開催年	開催地	支部長
第1回	昭和48年	青森市	JA7ELP
第2回	49年	木造町	〃
第3回	50年	三戸町	〃
第4回	51年	弘前市	〃
第5回	52年	青森市	〃
第6回	53年	三沢市	〃
第7回	54年	黒石市	〃
第8回	55年	平内町	〃
第9回	56年	十和田市	〃
第10回	57年	八戸市	〃
第11回	58年	五所川原市	〃
第12回	59年	青森市	JA7NL
第13回	60年	弘前市	〃
第14回	61年	むつ市	〃
第15回	62年	五戸町	〃
第16回	63年	三沢市	〃
第17回	平成元年	金木町	〃
第18回	2年	平内町	〃
第19回	3年	野辺地町	〃
第20回	4年	五所川原市	〃
第21回	5年	十和田市	〃
第22回	6年	青森市	〃
第23回	7年	八戸市	〃
第24回	8年	五戸町	〃
第25回	9年	市浦村	〃
第26回	10年	三沢市	JE7JGG
第27回	11年	平賀町	〃
第28回	12年	青森市	〃
第29回	13年	八戸市	〃
第30回	14年	岩木町	〃
第31回	15年	むつ市	〃
第32回	16年	十和田市	〃
第33回	17年	五所川原市	〃
第34回	18年	五戸町	〃
第35回	19年	青森市	〃
第36回	20年	弘前市	〃
第37回	21年	三沢市	〃
第38回	22年	八戸市	〃
第39回	23年	青森市	〃
第40回	24年	むつ市	〃
第41回	25年	弘前市	〃
第42回	26年		JR7GBL

海外局にも積極的 PR へ

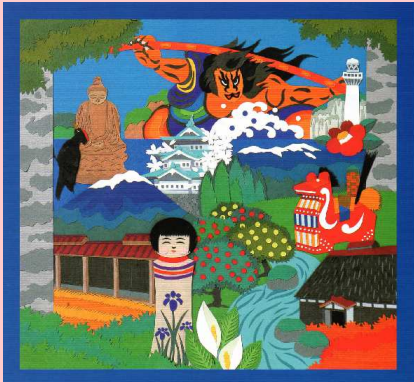
「県市町村アワード」 国内 455 局に発行

青森県全市町村交信(受信)賞(県市町村アワード)は 4 月 23 日現在、のべ 455 局に発行しています。

担当の JA7OUV さんがリストを整理中ですが、海外からの申請がありません。日本語の分かる局なら簡単ですが、「敷居が高い」みたいです。

そこで、英文の要項や申請書を時間をかけて作成、ホームページにアップすることを検討中です。HF 通信の活性化にもつながりそうです。

右記を参照 http://www.jarl.com/aomori/zenshi_awrd.html



青森県全市町村賞

NAME _____
 CALL _____
 貴局は青森県内の全市町村のアマチュア無線局と交信をされたので、これを賞します。
 RPT NO. _____ RPT: _____



日本アマチュア無線連盟青森県支部
発行

アワードで楽しむ HF 海外通信の魅力

DXCCオナーロール座談会 (中) 「貴重エンティティ」を追いかけ 40 年余



▲今だから言える苦勞を語るオナーロール3氏(右から)

DXCCオナーロール3氏を囲んでの座談会が4月5日、弘前市で開かれました。JA7BAL・佐藤秀隆さんに続き JA7MSQ・算用子徹さん、JH7XRG・齋藤久世志さんにお話を伺いました。

◇.....◇.....◇.....◇.....◇.....◇.....◇.....◇.....◇

☆100Wでスタート JA7MSQさん☆

昭和49年(1974年)に開局したJA7MSQさんは、情報通信会社に就職。首都圏に転勤後は無線を控えていました。独身寮が高級住宅街にあったので、無線に対して周囲の眼が非常に厳しかったそうです。

昭和58年(1983年)ころから再度、無線に熱が入りました。横浜市の高台にある社宅に移り、屋根馬100Wで3Y/P(ピーター1世島)との交信に成功しましたが、最初は友人も信じてくれませんでした。



▲50 エンティティごとのシール

★1KWでオナーロール頂点に★

240から300エンティティに数を伸ばし、八戸市勤務の時は3Y/B(ブーベ島)に14MHZのCWで挑戦すること1週間、それでも交信が出来ませんでした。

現在の青森市郊外の高台にタワーを構築え1KWでオナーロール1位になりました。



▲年代によってデザインが違う盾

☆休眠と再開を繰り返す

JH7XRGさん☆

JH7XRG・齋藤久世志さんは昭和52年(1977)に電話級で開局、5年後の100Wで落成検査に合格してから本格的に海外交信を始めました。

地上高12mの屋根馬、21MHZだけで162エンティティを獲得。一番の思い出は検査合格まだ間もない3月20日早朝3時すぎ、アフリカが大オープンしてST(スーダン)、9U(ブルンジ)、7Q(マラウイ)、9X(ルワンダ)と交信した



▲海外から届く美しいカード

▲ARRL エンティティリスト

事だそうです。その後何度か“休眠”しました。

★AAA達成感に浸る★

タワーを建て3バンドのアンテナに替えた翌年の平成5年(1993年)末で275エンティティ。当時はDXCCよりAAA(オール・アフリカ・アワード)に夢中で、同年4月には同賞を獲得していました。

達成感から“休眠状態”に。自宅を改築した平成24年(2012年)、1KWでオナーロールを目標にしました。夢の実現は昨年11月でした。※次回に続く



▲色々なアワードも魅力的

Top of The Honor Roll への道

http://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-2_Award/dxcc/dxcc.htm

【ステップ①】

100エンティティで「基本アワード」取得。便利なJARLのフィールドチェックがおすすめ。

【ステップ②】

250エンティティまで50ごとに追加申請。アワード(賞状)に貼るステッカーは3枚に。



▲ピンバッジ

【ステップ③】

300エンティティまでは25ごとに追加のステッカー取得。ここまで5枚を集めます。

【ステップ④】

300を超えると5エンティティごとに発行され、330まででステッカーは合計11枚。

【ステップ⑤】

12枚目のステッカーでオナーロール入り。13枚目で「Top of The Honor Roll」。